



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 森六株式会社

コード番号 4249 URL <https://www.moriroku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 黒瀬 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 清水 恵 TEL 03 (3403) 6102

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	97,479	△9.7	2,062	8.5	1,887	141.1	896	-
2025年3月期第3四半期	107,926	1.7	1,900	△46.1	782	△80.0	60	△97.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,845百万円 (128.4%) 2025年3月期第3四半期 1,246百万円 (△79.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	62.54	-
2025年3月期第3四半期	4.13	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	120,181	65,182	53.2
2025年3月期	124,634	64,911	51.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 63,993百万円 2025年3月期 63,662百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	52.50	-	52.50	105.00
2026年3月期	-	57.50	-	-	-
2026年3月期（予想）	-	-	-	57.50	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,200	△10.2	3,500	△15.4	2,800	27.0	1,800	-	125.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Moriroku Chemicals India Private Limited

除外 1社 (社名) Moriroku Technology De Mexico S.A. DE C.V.

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	14,410,000株	2025年3月期	14,860,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	101,319株	2025年3月期	199,819株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	14,334,504株	2025年3月期3Q	14,674,276株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2025年3月期136,300株、2026年3月期3Q 61,200株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2025年3月期3Q 192,276株、2026年3月期3Q 104,769株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	9
(追加情報の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	11

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間においては、中国およびアジアでは日系自動車メーカーの苦戦が継続しているほか、北米では半導体供給不足による主要顧客の生産停止の影響を受けるなど、当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。為替は足元では円安に振れる動きとなったものの前年同期に比べては円高で推移し、化学品の販売価格形成の基準となるナフサ価格も下落傾向となりました。

こうした事業環境のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、中国、アジア、北米における主要顧客の自動車の減産や化学品販売の減少により、97,479百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

営業利益は、2,062百万円（同8.5%増）となりました。減収の影響や物価高騰による調達コストの増加、株式会社レゾナックの事業譲受関連費用（※）の発生等があったものの、顧客との交渉を通じた販売価格の適正化やコスト改善が進展しました。加えて、メキシコの子会社 Moriroku Technology De Mexico S.A. DE C.V.（以下、「MTDM」）の売却に伴い同社が連結除外になったことや、前期に中国等で減損損失を計上したことによる減価償却費の減少により、増益となりました。

経常利益は、為替差損が前年同期に比べて縮小したことにより1,887百万円（同141.1%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上した固定資産売却益の反動減はあったものの896百万円（前年同期は60百万円）となりました。

※ 当社は、2025年9月24日開催の取締役会において、株式会社レゾナックが営むモビリティ事業の一部を譲り受けることを目的として、同社が新たに設立する成形部材分割準備株式会社の全株式を取得し、子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結しました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社および当社の国内完全子会社の組織再編に伴い、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、管理費用等の配分方法を見直しており、報告セグメントに配分していた一部の本社費用について全社費用として「調整額」に含めて開示する方法に変更しております。前年同期比較についても、前年同期の数値を変更後の算定方法に基づき組み替えて比較しております。

#### ①樹脂加工製品事業

売上高は、中国、アジアでは日系自動車メーカーの苦戦、北米では半導体不足を背景とした主要顧客の減産の影響に加えて、MTDMの売却により減収となりました。

営業利益は、減収の影響や物価高騰による調達コストの増加はあったものの、日本や北米を中心に販売価格の適正化やコスト改善が進展しました。また、MTDMの売却による損失の解消に加えて、中国では前期に減損損失を計上したことに伴う減価償却費の減少や金型補償益の計上もあり、増益となりました。

このような結果、売上高は78,213百万円（前年同期比10.7%減）、営業利益は2,439百万円（同44.6%増）となりました。

#### ②ケミカル事業

モビリティ分野は、中国およびアジアは低迷したものの、国内は堅調に推移したほか、二輪・バギー向けの樹脂部品販売や金型取引が増加しました。電機・電子分野も堅調に推移しました。一方で、顧客の生産調整の影響により国内で医療向け高機能フィルムの販売が減少したほか、欧州向けの透明樹脂の販売も伸び悩んだ結果、売上高は減収となりました。

営業利益は、グループ全体で経費削減に努めたものの、減収の影響が大きく、減益となりました。

このような結果、売上高は19,266百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は1,187百万円（同22.4%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は69,288百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,505百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が3,715百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は50,892百万円となり、前連結会計年度末に比べ947百万円減少しました。これは主に、建設仮勘定が2,239百万円、投資有価証券が868百万円増加した一方、建物及び構築物が3,067百万円、機械装置及び運搬具が1,360百万円減少したこと等によるものであります。

これらの結果、総資産は120,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,453百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は48,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,597百万円減少しました。これは主に、その他に含まれる前受金が3,523百万円増加した一方、関係会社整理損失引当金が6,283百万円、その他に含まれる未払費用が834百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は6,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円減少しました。これは主に、社債が170百万円減少したこと等によるものであります。

これらの結果、負債合計は54,998百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,724百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は65,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ270百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が1,902百万円減少した一方、為替換算調整勘定が1,272百万円、その他有価証券評価差額金が650百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,973	16,504
受取手形及び売掛金	32,799	29,083
電子記録債権	1,669	2,040
商品及び製品	5,787	6,341
仕掛品	4,099	6,192
原材料及び貯蔵品	4,380	4,689
その他	4,094	4,465
貸倒引当金	△10	△29
流動資産合計	72,793	69,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,324	14,256
機械装置及び運搬具（純額）	10,283	8,922
工具、器具及び備品（純額）	4,203	3,948
土地	5,208	4,982
リース資産（純額）	451	461
建設仮勘定	2,657	4,897
有形固定資産合計	40,128	37,469
無形固定資産	1,460	1,519
投資その他の資産		
投資有価証券	7,553	8,421
長期貸付金	91	751
退職給付に係る資産	1,358	1,357
繰延税金資産	592	532
その他	658	843
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	10,252	11,903
固定資産合計	51,840	50,892
資産合計	124,634	120,181

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,914	18,932
電子記録債務	1,336	1,743
短期借入金	15,675	15,554
1年内償還予定の社債	170	170
1年内返済予定の長期借入金	797	300
リース債務	361	256
未払法人税等	666	415
関係会社整理損失引当金	6,626	342
その他	8,257	10,492
流動負債合計	52,805	48,208
固定負債		
社債	859	688
長期借入金	2,314	2,424
リース債務	842	794
繰延税金負債	1,728	1,813
債務保証損失引当金	95	17
退職給付に係る負債	512	561
資産除去債務	173	173
その他	391	316
固定負債合計	6,917	6,790
負債合計	59,723	54,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	1,398	1,398
利益剰余金	48,546	46,644
自己株式	△518	△181
株主資本合計	51,067	49,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,407	3,057
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	9,237	10,510
退職給付に係る調整累計額	551	504
在外子会社のその他退職後給付調整額	399	418
その他の包括利益累計額合計	12,595	14,491
非支配株主持分	1,248	1,188
純資産合計	64,911	65,182
負債純資産合計	124,634	120,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	107,926	97,479
売上原価	91,368	80,967
売上総利益	16,557	16,512
販売費及び一般管理費	14,656	14,449
営業利益	1,900	2,062
営業外収益		
受取利息	120	126
受取配当金	377	226
持分法による投資利益	-	64
その他	138	142
営業外収益合計	635	559
営業外費用		
支払利息	670	548
為替差損	814	67
持分法による投資損失	6	-
その他	262	118
営業外費用合計	1,753	734
経常利益	782	1,887
特別利益		
固定資産売却益	856	90
投資有価証券売却益	41	-
補助金収入	48	65
債務保証損失引当金戻入額	-	77
特別利益合計	947	233
特別損失		
固定資産売却損	26	10
固定資産除却損	14	37
債務保証損失引当金繰入額	86	-
特別損失合計	127	48
税金等調整前四半期純利益	1,602	2,072
法人税等	1,489	1,134
四半期純利益	113	938
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	60	896

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	113	938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△923	661
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	2,066	1,262
退職給付に係る調整額	△24	△46
在外子会社のその他退職後給付調整額	15	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	9
その他の包括利益合計	1,132	1,907
四半期包括利益	1,246	2,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,188	2,792
非支配株主に係る四半期包括利益	57	52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	87,619	20,306	107,926	-	107,926
セグメント間の内部売上高 または振替高	500	864	1,364	△1,364	-
計	88,119	21,170	109,290	△1,364	107,926
セグメント利益	1,687	1,529	3,216	△1,315	1,900

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,315百万円には、セグメント間取引消去14百万円および各報告セグメントに帰属しない当社の費用△1,330百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	78,213	19,266	97,479	-	97,479
セグメント間の内部売上高 または振替高	463	538	1,001	△1,001	-
計	78,676	19,804	98,481	△1,001	97,479
セグメント利益	2,439	1,187	3,626	△1,564	2,062

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,564百万円には、セグメント間取引消去5百万円および各報告セグメントに帰属しない当社の費用△1,570百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社および当社の国内完全子会社の組織再編を行っております。併せて、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、管理費用等の配分方法を見直しております。これにより、報告セグメントに配分していた一部の当社費用について全社費用として「調整額」に含めて開示する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の配分方法に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2025年3月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式391,300株の取得を行いました。また、当社は2025年6月6日開催の取締役会決議に基づき、2025年6月30日付で、自己株式450,000株の消却を実施しました。これらの自己株式の取得および消却等の結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が1,902百万円、自己株式が337百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が46,644百万円、自己株式が181百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	5,923百万円	4,735百万円

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

持分法を適用していない非連結子会社であった Moriroku Chemicals India Private Limited は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社であった Moriroku Technology De Mexico S.A. DE C.V. の全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報の注記)

(取得による企業結合)

当社は、2025年9月24日開催の取締役会において、株式会社レゾナック（以下「レゾナック」）が営むモビリティ事業の一部を譲り受けることを目的として、同社が新たに設立する成形部材分割準備株式会社（以下、「新会社」）の全株式を取得し（以下「本件株式取得」）、子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結しました。

本件株式取得により、新会社および同社の子会社にあたる株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツ、Resonac Automotive Products (Thailand) Co., Ltd. の3社は当社の連結子会社となります。

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

- |           |  |
|-----------|--|
| ①被取得企業の名称 | 成形部材分割準備株式会社                                     |
| 事業の内容     | 自動車用樹脂内外装成形品の製造及び販売事業                            |
| ②被取得企業の名称 | 株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツ                          |
| 事業の内容     | 自動車用樹脂成形品及び金型の製造                                 |
| ③被取得企業の名称 | Resonac Automotive Products (Thailand) Co., Ltd. |
| 事業の内容     | 自動車用樹脂成形品の製造、販売                                  |

(2) 企業結合を行う主な理由

当社は、2035年に向けた長期ビジョン「CREATE THE NEW VALUE」のもと、ものづくりの技術と化学の力を駆使し、社会に価値あるソリューションを提供することをミッションとして、持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。

このたび、当社はレゾナックの自動車成形部材事業を会社分割によって承継させた新会社および同社の子会社である株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツの関東事業所（茨城県）と九州事業所（福岡県）、さらにResonac Automotive Products (Thailand) Co., Ltd.（タイ）が展開する事業（以下「対象事業」）を譲り受けることとなりました。

対象事業は外装樹脂部品の製造・販売を中心に、日本初の樹脂製バックドアや世界初の外装発泡成形部品など、独自技術を駆使した高付加価値製品を提供しています。また、軽量化やモジュール化などの業界ニーズに対応する強固な基盤を築いています。

今回の譲受により、当社はこれまで培ってきた加飾・電装・軽量化技術と、対象事業の外装発泡・モジュール化技術を融合させ、競争力の高い製品・ソリューションを創出します。このシナジーにより、成長戦略を加速させ、競争力を一層強化することで、2035年ビジョンの実現と持続的な企業価値向上を目指してまいります。

(3) 企業結合日

2026年4月1日（予定）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

本件株式取得後、新会社、株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツ、Resonac Automotive Products (Thailand) Co., Ltd. はいずれも商号変更を予定していますが、現時点で新商号は未定です。

(6) 取得する議決権比率

- |   |        |
|---|--------|
| ①成形部材分割準備株式会社                                     | : 100% |
| ②株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツ                          | : 100% |
| ③Resonac Automotive Products (Thailand) Co., Ltd. | : 51%  |

(7) 株式の取得価額および決済方法

①株式の取得価額（概算）

取得価額	172億円
アドバイザー費用等	6
合計	178

最終的な取得価額につきましては、株式譲渡契約書に定める価格調整によって変動する可能性があります。

②決済方法

現金

(重要な後発事象の注記)

(多額な資金の借入)

当社は、2026年2月10日開催の取締役会において、財務上の特約が付されたシンジケートローン契約（以下、「本契約」）の締結について決議しました。

(1) 本契約に伴う資金の用途

(追加情報の注記)に記載のとおり、当社は、株式会社レゾナックが営むモビリティ事業の一部を譲り受けることを目的として、同社が新たに設立した成形部材分割準備株式会社の全株式を取得することを決議しており、本契約は、当該株式取得の資金に充当するために実施するものであります。

(2) 本契約の内容

① 本契約の締結日	2026年3月27日（予定）
② 借入実行日	2026年4月1日（予定）
③ 相手方の属性	都市銀行、地方銀行、信託銀行 計6行
④ 借入金額	15,000百万円
⑤ 借入金利	基準金利＋スプレッド
⑥ 返済方法	3ヵ月毎の元本均等返済
⑦ 弁済期限	2033年3月31日
⑧ 担保等の内容	該当事項はありません。

(3) 本契約に付された財務上の特約の内容

- ①2026年3月期以降、各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、2025年3月期末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額、または直近の事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高いほうの金額以上に維持すること。
- ②2026年3月期以降、各事業年度末日における連結損益計算書に記載される営業損益を2回連続して損失としないこと。
- ③2026年3月期以降、各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される有利子負債の合計金額を、連結損益計算書における営業利益および連結キャッシュ・フロー計算書における減価償却費の合計金額で除した値を7超としないこと。